

## いじめ対策アクションプラン

### 児童のアクション

- ・ 明るく、元気なあいさつをする。
- ・ 相手の気持ちを考えた言葉遣いをする。
- ・ 自分の気持ちや考えをしっかりと伝える。
- ・ 友達の良いところを見つける。
- ・ みんなと協力して助け合う。
- ・ 「1日のきまり」や生活目標を守る。

### 家庭や地域と連携したアクション

- ・ 児童の表情や行動の変化などに関して時機を逃さず情報交換をする。
- ・ いじめ問題に対する取り組み方針の周知をする。
- ・ 情報機器によるトラブルを未然に防止するために情報モラル教育に関する啓発をする。
- ・ 民生委員との連携により地域での子どもの様子を把握する。
- ・ 高齢者の方々や地域の福祉施設との交流活動を通じて地域とともに共生の考え方を学ばせる。

心と体を鍛え 学びを楽しみ  
主体的に生きる児童の育成

### 教職員のアクション

- **いじめを許さない、居がいのある学級づくり**
  - ・ 学級経営の充実を通して、学級内の規律づくりとともに、教師と児童、児童相互の望ましい人間関係づくりに努める。  
【教室環境の整備・構成的エンカウンターの効果的実施】
  - ・ 児童の悩みや相談・訴えに、親身になって耳を傾け、真剣に対応する。【教育相談の常時実施】
- **教育活動の充実によるいじめの未然防止**
  - ・ 「分かる授業」を展開し、支援員などと協力しながら、個に応じた指導の充実を図る。【各教科・領域】
  - ・ 各教科において、言語活動を充実させ、自分の気持ちや考えを適切に相手に伝え、言葉によって問題を解決していく能力の育成に努める。【各教科：学び合い（交流）の充実】
  - ・ 落ち着いた雰囲気、親和的・支援的な雰囲気の中で、安心して学習や生活ができる環境づくりを行う。【学業指導の充実・学級活動・朝の活動等：互いのよさを認め合う場の設定】
  - ・ 道徳科の時間を充実させ、「互いを思いやる心、自分も相手も同様に尊重する心」の育成を図る。【道徳の時間・道徳教育の充実】
- **いじめ問題の早期発見**
  - ・ 相談カードの活用や、生活相談員との連携などにより、教育相談の充実を図る。【全教職員による教育相談の実施】
  - ・ Q-U検査、定期的なアンケート調査、「いじめ早期発見のためのチェックリスト」を活用することにより、問題の早期発見に努める。【常時・職員研修】
- **いじめ問題への早期対応**
  - ・ 情報交換を密にし、児童指導委員会・児童支援委員会を母体に、状況や事案に応じて、「いつ、誰が、何をするのか」を明確にし、組織として対応する。【常時・事案掌握時】  
【 】内は具体的な場面・方法